

(別紙：開催要領)

「SIP 第 2 期「スマートバイオ産業・農業基盤技術」シンポジウム 2020

－新たなスマートフードチェーンの構築をめざして－

農業・食品産業技術総合研究機構（以下、農研機構）は、標記シンポジウムを下記のとおり内閣府 SIP「スマートバイオ産業・農業基盤技術」スマートフードチェーンコンソーシアムおよび慶應義塾大学 SFC 研究所と共催で開催いたします。

内閣府 戦略的イノベーション創造プログラム（SIP）第 2 期の「スマートバイオ産業・農業基盤技術」では、農産物生産から加工・流通・販売・輸出までのデータを相互活用する「スマートフードチェーン」のモデル構築をめざしています。現在、消費、流通と生産間の情報の共有化と相互のマッチングシステムが未整備で、各プロセスにおいて多くの非効率性が残されています。このため、SIP 第 1 期での成果である「農業データ連携基盤（WAGRI）」の機能を拡張し、フードバリューチェーン全体に展開する新たなデータプラットフォームの構築を進めることとしました。これにより、例えば販売業者や消費者の皆様に対して、その農産物が「どこでどのような栽培をされて、いつ出荷されたのか、どのように運ばれたのか」という情報を「見える化」することが可能になります。

本シンポジウムでは、これまでの研究成果をご紹介し、広く今後のスマートフードチェーンに関する課題やご意見を伺うとともに、課題解決に向けた議論を行います。

記

日時：令和 2 年 3 月 18 日（水）13:00～17:00

会場：慶應義塾大学 三田キャンパス 南校舎ホール（東京都港区三田 2-15-45）

<https://www.keio.ac.jp/ja/maps/mita.html>

田町駅(JR 山手線/JR 京浜東北線)徒歩 8 分

三田駅(都営地下鉄浅草線/都営地下鉄三田線)徒歩 7 分

赤羽橋駅(都営地下鉄大江戸線)徒歩 8 分

共催：内閣府 SIP「スマートバイオ産業・農業基盤技術」スマートフードチェーンコンソーシアム、
農研機構、慶應義塾大学 SFC 研究所

プログラム:

- 1) 開会挨拶 13:00～13:05
農研機構 理事長 久間 和生
- 2) 来賓挨拶 13:05～13:15
SIP「スマートバイオ産業・農業基盤技術」プログラム・ディレクター 小林 憲明
農林水産省 農林水産技術会議事務局 事務局長 菱沼 義久
- 3) 基調講演 13:15～13:45
「我が国における農産物流通の課題と展望 ―諸外国との比較に基づいて―」
(公財) 流通経済研究所 農業・地域振興研究開発室長 折笠俊輔
- 4) 成果報告 13:45～14:45
「スマート生産システムの開発」
農研機構 理事 寺島 一男
「スマートフードシステム全体のICTプラットフォームのプロトタイプ構築」
慶應義塾大学 環境情報学部 教授 神成 淳司
「加工・流通の低コスト化、最適化技術開発」
農研機構 食品研究部門 食品加工流通研究領域長 石川 豊
- 5) ポスターセッション（休憩含む） 14:45～15:55
※会場：南校舎 6 階ホワイト
- 6) パネルディスカッション 15:55～16:55
※モデレーター 株式会社日本総合研究所 創発戦略センター エキスパート 三輪 泰史
※パネリスト 流通業者、農業生産者などを含む 7 名程度を選定中
- 7) 閉会挨拶 16:55～17:00
内閣府 大臣官房審議官（科学技術・イノベーション担当） 高原 勇

参加申込：下記のメールアドレスに、必要事項（氏名(ふりがな)、所属、役職、連絡先(電話番号またはメールアドレス)) を記入の上をお申込み下さい。

シンポジウム事務局：sipsym2020@ml.affrc.go.jp

※当日は受付にてお名刺を一枚頂戴いたしますので、予めご用意ください。